

様式第10号(第6条関係)



令和7年4月14日

南相馬市議会議長

会派名 市民クラブ  
代表者名 代表 櫻井 勝延

令和6年度政務活動費収支報告書

南相馬市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第1項の規定に基づき、別紙のとおり、令和6年度政務活動費収支報告書を提出します。

別紙

令和6年度政務活動費収支報告書

会派名 市民クラブ

1 収入

(単位：円)

項 目	金 額	備 考
政 務 活 動 費	160,000	
預 金 利 子	0	
会 派 負 担 金	0	
合 計	160,000	

2 支出

(単位：円)

項 目	金 額	備 考
調査研究費		
研修費		
広報費	145,392	広報紙印刷代、新聞折り込み料
広聴費	1,320	市政報告会会場借上げ料
要請・陳情活動費		
会議費		
資料作成費		
資料購入費		
人件費		
事務所費		
合 計	146,712	

- (注) 1 備考欄には、主たる支出の内訳を記載すること。  
2 会計帳簿の写し及び領収書等の証拠書類の写しを添付すること。

3 残金 13,288 円

## 令和6年度 政務活動費 会計帳簿

会派名 市民クラブ

年月日			摘 要	収 入	支 出	残 高
7	3	11	政務活動費2人×20,000円×4か月	160,000	0	160,000
7	2	18	原町生涯学習センター施設使用料	0	1,320	158,680
7	3	11	議会報告 印刷代	0	82,104	76,576
7	3	11	議会報告 新聞折り込み料	0	63,288	13,288
				160,000	146,712	13,288

# 領収書等添付用紙

(単位:円)

支出項目	<input type="checkbox"/> 調査研究費	<input type="checkbox"/> 会議費
	<input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 資料作成・購入費
	<input checked="" type="checkbox"/> 広報・広聴費	<input type="checkbox"/> 人件費・事務所費
	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費	
支出内容	広報費(議会報告印刷代)	
支出月日	令和7年3月11日	
支出額	82,104円	

No 003858

## 領 収 書

令和 7 年 3 月 11 日  
市民クラブ様

金 額		¥ 82,104			円
-----	--	----------	--	--	---

(内消費税 ¥7,464 円)

但し印刷代

上記の金額正に領収致しました。

想像から創造へ 有限会社 **ライト印刷**

代表取締役 荒 毅

福島県南相馬市原町区北新田字宿田 370  
 TEL (0244) 22-6891  
 FAX (0244) 22-6804  
 登録番号: T2380002029262

現金	
小切手	
振込	
相殺	

取扱者印

# 領収書等添付用紙

(単位:円)

支出項目	<input type="checkbox"/> 調査研究費	<input type="checkbox"/> 会議費
	<input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 資料作成・購入費
	<input checked="" type="checkbox"/> 広報・広聴費	<input type="checkbox"/> 人件費・事務所費
	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費	
支出内容	広報費(議会報告折込代)	
支出月日	令和7年3月11日	
支出額	63,288円	

## 領 収 書

令和 7年 3月 11日

市民クラブ 様

No 003859



金 額										円
										¥ 63,288

(内消費税 ¥5,253 円)

但し折込料

上記の金額正に領収致しました。

**想像から創造へ 有限会社 ライト印刷**

代表取締役 荒 毅

福島県南相馬市原町区北新田字信田370

TEL (0244) 22-6891

FAX (0244) 22-6804

登録番号: T2380002029262

取扱者印



# 領収書等添付用紙

(単位:円)

支出項目	<input type="checkbox"/> 調査研究費	<input type="checkbox"/> 会議費
	<input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 資料作成・購入費
	<input checked="" type="checkbox"/> 広報・広聴費	<input type="checkbox"/> 人件費・事務所費
	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費	
支出内容	広聴費(会場借上料)	
支出月日	令和7年2月18日	
支出額	1,320円	

## 納入通知書・領収証書

©

〒  
住所  
  
 市民クラブ様

金額	¥1,320 円
納期限	年 月 日
摘要	原町生涯学習センター施設使用料 / 件 No. 457 減免第 一 号

6年度 所属 生涯学習課  
 会計 款 項 目 節  
 細節  
 細々節  
 会計名  
 納入場所 原町生涯学習センター

(2/23)



上記の通り納入しました。  
(納入者用)

上記の通り納入して下さい。

7年2月18日

南相馬市長



# 市民クラブ議会報告

発行 市議会会派 市民クラブ  
 代表 櫻井勝延  
 電話 0800-52287-185  
 事務局 表 信司  
 電話 080-2133-0064

## ごあいさつ

### 会派「市民クラブ」結成について

新年おめでとうございます。3月で大震災と東電福島第一原発事故後15年目を迎えます。市民の皆様の安寧とご健康をお祈り申し上げます。さて、昨年12月議会を前に、櫻井勝延と表信司議員で議会会派「市民クラブ」を結成いたしました。12月議会のご報告と共に、2人で力を合わせて市民の声を市議会に反映させるために努力して参ります。今後ともご指導とご協力をよろしくお願いいたします。



櫻井勝延



表 信司

#### 一般質問(櫻井勝延)

##### ○人口減少問題について

問 令和6年度で平成23年3月と人口を比較すると1万7881人減、令和7年度では1万8194人減少している。如何に対応するのか伺います。

答 人口構造上の問題改善については、長期的な視点で継続的対策を講じていく必要がある。人口動向等を踏まえつつ、粘り強く継続的に人口減少対策を進めていくことに尽きると思っております。

問 生産年齢人口で女性が男性に比べて2000人少ないのが現実です。市はどう考えているのか伺います。

答 生産年齢人口が、女性が少ない。集中的に対応しなければならぬが、すぐには結論と成果は出ないだろうと思えます。

##### ○持続的な行政運営について

問 南相馬市は県内で、人口規模では8番目で、職員数は県内で5番目です。一層効率的な運営が必要だと思いが考えをお伺いします。

答 復興事業の取組、生産年齢人口増、子どもたち、女性を増やす取組、これには人が、職員の方が必要です。定員適正化計画を見直し、今後数年間、定数を増やして行きます。

##### ○職員の病気休暇・病気休職について

問 現状と病休の要因についてお伺いします。

答 十一月末まで30日以上病気休暇取得した職員は延べで42名です。うち精神疾患は36名でございます。そのうち休職となった職員は19名で、精神疾患は17名でございます。病休の要因については、

業務内容によるものが15名で、職場の対人関係が4名、身体面の体調悪化、個人な対人関係等職場外の要因となっております。

##### ○南相馬市組織診断報告書について

問 早稲田大学の調査結果を受けてどのような対応されているのか伺います。

答 令和5年度実施した自由記述のアンケート結果で、上司からのコミュニケーション不足や曖昧な指示が職員のストレス要因として挙げられているので、課題であると捉えています。管理監督職員が身に着けるべきマネジメントスキルを理論的に学ぶだけではなく、学んだ内容を即座に実務に生かせるよう、ワークショップ型の研修や聞く力を着けるトレーニング等実践型研修を取り入れる等、マネジメントの向上に取り組んでいます。

※特別職の市長・副市長には、職員の皆さんが「市役所は市民の役に立つ所」との意識で働けるように仕事を出来るような環境にして欲しいです。

### 市民クラブ議会報告・懇談会のご案内

日時 2月23日(日) 午後1時30分  
 会場 サンライフ南相馬

※市民の皆様のご参加をお待ちしております。

一般質問（表信司）

○南相馬市公共施設等総合管理計画について

表 市公共施設等総合管理計画は、20年間に及ぶ長期計画で、平成28年度策定から9年が経過しておりますが、進捗状況について伺います。

答 平成28年度策定の南相馬市公共施設等総合管理計画では、平成28年度から令和17年度までの20年間で、公共施設の延べ床面積縮減率の目標値を25%としたところです。本計画に基づき公共施設の再編方針と再編等事業の実施時期を定めるため、市公共施設再編個別計画を令和3年2月に策定しました。本個別計画で、公共施設の延べ床面積縮減目標を1期から4期に段階的に設定し、1期の平成28年度から令和4年度までの縮減率を5%、2期の令和5年度から8年度までを10%、3期の令和9年度から12年度までを15%、4期の令和13年度から17年度までを25%として、2期の令和5年度末の縮減率は11%で、目標値を上回っています。

表 南相馬市公共施設等総合管理計画を推進するに当たり現時点での課題について伺います。

答 総合管理計画で見れば、現時点で目標値を上回っています。市公共施設再編個別計画では、再編方針の定まっていない施設があるため、延べ床面積縮減率が目標の25%に対し14%にとどまる想定となっており、本計画を定期的に見直ししていく状況です。このような状況を踏まえ、現時点で再編方針の定まっていない小学校、幼稚園、保育園の施設について、個別計画に反映させるとともに、さらなる取組を行う

ため、現在、公共施設の更新費用等の縮減に向けた手法の検討と試算を行っています。

この検討結果を踏まえ、公共施設のマネジメントサイクルに沿って計画の進捗管理や評価等を行い、施設全体をマネジメントしていきたいと考えています。

○職員の労働環境の改善について

表 職員の超過勤務（残業）時間は、通常業務における法定で月45時間、年間360時間以内となっておりますが、実態について伺います。

答 職員の超過勤務については、繁忙期や突発的業務の影響により、法定時間を超過していると確認しています。令和5年度は年間360時間を超えているのは、医療職を除く職員の内84人の状況で、令和4年度と比較で38人減となっております。引続き、特定部署や職員に業務負担が偏らない人員配置の最適化、業務負担の見直し等を徹底していきたいと考えています。

なお、令和4年度と比較すると、職員全体で1万7700時間、1人当たり27時間の減少となっております。

表 職員が市民や事業者等から過剰なクレームや要求等のカスタマーハラスメント（カスタムラ）の実態をどう捉えているか伺います。

答 職員に対するカスタムラについては、職員からの訴えや相談により適宜対応しています。カスタムラの影響は、業務パフォーマンスや意欲の低下、恐怖や不安からの心身の不調などにつなが

ると考えるので、対策は重要と捉えています。

現在、来庁者の苦情等に対し、苦情対応マニュアルに基づき、苦情等を受けた職員が孤立しないよう、面談で対応方法や場所、会話の録音等、対応における心構えを職員間で共有し、組織的対応に努めています。令和2年策定の事業主が職場における優越的な関係を背景とした言動に起因する問題に関して雇用管理上講ずべき措置等の指針でカスタムラ対策への強化が求められているので総合的な対策や相談体制を整える必要があると捉えております。

表 カスタムラの内容は把握しているか伺います。

答 カスタムラについては、市民等への横柄な対応から、過去の経験、あるいはストレス耐性、職場のサポート体制等、様々な要因で受け止め方が異なるので、全て把握するのは困難と思えます。カスタムラの未然に防止、カスタムラから職員を守るためにカスタムラへの正しい知識と適切な対応を身につけるため、職員教育の他、相談窓口や応対マニュアル等を整えていきたいと考えております。

※市役所職員の皆さんが、やりがいや働きがいを持って業務できる職場となることで、市民の方からの信頼、行政サービスの向上につながることを願います。市役所が明るい雰囲気、市役所職員の皆さんが、市民のために働いていると実感できるように期待しています。